



卒業式の歌

卒業式では、「3月9日」と「旅立ちの日に」が合唱されました。右に「3月9日」の歌詞を載せました。「瞳を開じれば あなたが まぶたのうらにいて どれほど強くなれたでしょう あなたにとって私も そうであります」3年生にとっては、友と歩いてきた本城小中学校での9年間ではなかったでしょうか。これからも、出会いを大切に、結ばれた絆をいつまでも繋いでいきましょう。

形は心を育て 心は形をつくる

「こころ」はだれにも見えないけれど
「こころづかい」は見える
「思い」は見えないけれど
「思いやり」はだれにでも見える

宮澤章二さんの詩「行為の意味」より

東日本大震災後、テレビの民間広告ネットワーク A C JAPAN で何度も流された詩です。

あたたかいこころも、やさしい思いも、行いにならばはじめて見える。

同時に、人とのかかわりをたくさん経験することにより、目に見えない人のこころを敏感にキャッチする受信力が育つ。

その気持ちをカタチに。

本城中学校を、心と形がしっかり成長した生徒と本教師集団にしたい。こころという目には見えないものを鍛え、しっかりと形にして伝えられる本城中学校生に！今後も伝統に裏打ちされた誇り高い振る舞いのできる本城出身の生徒として、高校や串間中学校で活躍してほしいと思います。

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4216/htdocs>

3月9日

作詞 藤巻 亮太
作曲 藤巻 亮太
唄 レミオロメン

流れる季節の真ん中で
ふと日の長さを感じます
せわしく過ぎる日々の中に
私とあなたで夢を描く

3月の風に想いをのせて
桜のつぼみは春へとつづきます

溢れ出す光の粒が
少しずつ朝を暖めます
大きなあくびをした後に
少し照れてるあなたの横で

新たな世界の入口に立ち
気づいたことは 1人じゃないってこと

瞳を開じれば あなたが
まぶたのうらに いてことで
どれほど強くなれたでしょう
あなたにとって私も そうであります

砂ほこり運ぶ つむじ風
洗濯物に絡まりますが
昼前の空の白い月は
なんだかきれいで 見とれました

上手くはいかぬこともあるけれど
天を仰げば それさえ小さくて

青い空は凜と澄んで
羊雲は静かに揺れる
花咲くを待つ喜びを
分かち合えるのであれば それは幸せ

この先も 隣で そっと微笑んで

瞳を開じれば あなたが
まぶたのうらに いてことで
どれほど強くなれたでしょう
あなたにとって私も そうであります



想像の力こそ、人類ゆえの最高に輝かしいエネルギー

手塚 治虫 氏は、漫画の神様と称され、その60年の生涯で膨大な作品を世に送り出しました。鉄腕アトムやブラックジャック、火の鳥などが代表作で、昭和に育った我々は、多大な影響を受けているとって過言ではないと思います。

手塚 氏の絶筆ともいえる未完のエッセイ「ガラスの地球を救え～21世紀の君たちへ」があります。その中に、「もしも、ぼくが、わたしが、宇宙からのまなざしを持ったなら、想像の力は光速を越えて、何万何千光年のはるか星々まで瞬時に到達できるでしょう。その想像の力こそ、人類ゆえの最高に輝かしいエネルギーなのです。」というメッセージがあります。

マクロな世界からミクロな世界へ。私たち人間が五感でとらえることができる世界は、ほんの一部でしかありません。だからこそ、およそ150億個ある脳細胞を駆使して、想像の力で宇宙の果てや素粒子の中に広がる世界を見るしかないのです。また、それが人間にはできるのです。

外の世界を見つめること 内なる自分を見つめること

外の世界は、五感でとらえることにはなりますが限界はあります。上記したとおり、限界を超えるためには想像力しかありません。

内なる自分は、心の瞳で見るとのさうと思ひます。それは、生きてきた人生があるからこそ成り立つのさうと思ひます。たくさんの人と出会い、たくさんの本と出会い、人生経験を深め、心の瞳を磨きたいものです。また、たくさん勉強し、知識を増やし想像力を高めたいものです。

再びドングリ坂を上るときのために

20年、30年経って、自分はどこまでたどり着いたのか？

そして、どこに向かおうとしているのか？

それは、原点とも言える本城という地に戻らないとわからない。もう一度ドングリ坂を上り、自らに問いかけないとわからないかもしれません。

人は、瞼を開いて見えるものと、瞼を閉じてこそ見えるものがあると思ひます。そして、瞼を閉じてこそ見えるものは、私たち本城中学校で学んだ者にとっては、学校に続くドングリ坂の風景なのかもしれません。学校は閉校しますが、大事にしたい宝物だと思ひます。



本城中学校 3月31日をもって閉校します。

永年にわたり、ご支援いただきありがとうございました。